

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月23日

計画の名称	新発田市東豊地区の防災まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	新発田市												
計画の目標	<p>当該計画地は、東豊地区の中心に位置し、東豊小学校の通学路上にあること、また、広場と隣接することから登下校時に被災した際に避難場所、避難所として活用が期待できる。現在の豊町コミュニティセンターを建て替えて、防災機能を有した「東豊コミュニティ防災センター」を設置する。平常時は、東豊地区の防災コミュニティ活動や防災イベントの開催等の場として、災害時は、防災備蓄庫の機能を有した指定緊急避難場所として整備する。</p> <p>また防災マップ作成や避難経路誘導表示板を設置し、地域住民の災害に対する情報共有と、災害時の避難の円滑化を図る。</p> <p>このほか、講演会や体験型防災イベントや合同防災訓練を実施することで、豊町と東新町の多世代間交流を促進し、コミュニティの醸成と災害時の協力体制を図る。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	523	A	502	B	0	C	21	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.01	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	地区緊急避難施設「東豊コミュニティ防災センター」を建設して、東豊地区の避難困難者を解消する（設定：944人 0人） 避難困難者数（東豊地区）	R2当初 944人	人	R6末 0人
2	東豊地区における防災訓練の参加者数を増加させる。（設定：347人 382人） 合同防災訓練参加者数（東豊地区）	347人	人	382人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市	-	-	地区公共施設等整備(東豊地区)	地区緊急避難施設整備 N=1棟	新発田市						502		策定中	
												小計						502		
												合計						502		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市	-	-	防災マップ作成事業	防災マップ作成	新発田市						5	-		
		防災マップを作成・配布することにより、災害時の指定緊急避難所や指定避難所への避難経路の把握を促すとともに、日常からの防災意識の向上を図ることで被害の軽減を図る。																		
	C13-002	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市	-	-	避難経路誘導表示板設置事業	避難経路誘導表示板設置	新発田市						6	-		
		防災マップに基づく避難経路の誘導表示板を設置することにより、災害時の避難活動の円滑化を図るとともに、日常から避難経路の周知を図ることで被害の軽減を図る。																		
	C13-003	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市	-	-	防災講演会開催事業	防災講演会開催	新発田市						5	-		
		防災コミュニティセンターにおいて、講演会等を開催することで、住民の日頃からの防災意識の向上を図る。																		
	C13-004	都市防災	一般	新発田市	直接	新発田市	-	-	防災訓練実施事業	防災訓練実施	新発田市						5	-		
		東豊地区全体を対象とした防災訓練を実施することで、地区の防災拠点である防災コミュニティセンターと他の指定緊急避難場所等との非常時における連絡及び誘導体制の確認と強化を図る。																		
											小計						21			
										合計						21				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
対象地区に確認を行いながら事業担当課にて評価を実施	令和8年3月
	公表の方法
	新発田市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「東豊コミュニティ防災センター」の建設及び旧施設の跡地整備により、対象地区の避難困難者を解消することができた。防災マップの作成や防災講演会の開催等により、地域住民の防災意識の向上を図ることができ、対象地区の防災訓練の参加者を増加させることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	地元住民の意見交換の場を設けながら防災訓練や防災マップ作成等を実施したことで、よりよくブラッシュアップすることができた。
特記事項（今後の方針等）	
防災コミュニティ活動等の拠点として活用され、防災マップの作成や防災講演会の開催等を通じて得た防災意識のさらなる向上に寄与し、地域の主体的な防災コミュニティ活動や防災教育活動等の実施につながることが期待される。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	避難困難者数（人）	
	最終目標値	0人
	最終実績値	0人
2	防災訓練参加者数（人）	
	最終目標値	382人
	最終実績値	386人